

千川中学校だより

4月号 平成30年4月13日（金）

主体的・対話的で深い学びの定着をめざして
（千川中スタンダード＝「めあて→自力解決→集団解決→振り返り」）

千川中学校長 紅床 直也

始業式・入学式を終え、全校生徒185名、全学年2クラスずつで、平成30年度がスタートしました。昨年度は、創立70周年記念式典・祝賀会、研究推進校発表と忙しくも充実した1年でした。今年度の千川中学校は、昨年度まで2年間にわたった豊島区教育委員会研究推進校としての実績を基に、「主体的・対話的で深い学び」の更なる向上と定着を目指したいと考えています。そのためには、教科指導をはじめとしたあらゆる教育活動を「千川中スタンダード」（めあて→自力解決→集団解決→振り返り）に則って実施することにより、「自分の考えや意見を伝えることができる力」の向上・定着を図ります。これは、小学校が学級担任制の下で実施している授業展開を本校独自にアレンジすることにより、小学校教育と中学校教育の円滑な接続と連携を目指すものでもあります。また、生命尊重の教育・人権教育の推進、学力下位層の生徒の支援・自尊感情の醸成、規範意識の育成の視点からのアプローチを通じて「人間力」を向上させます。

中期的には、平成35年度着工予定の校舎改築を視野に入れながら、ハード（教育施設）とソフト（教育内容）の両面から改善を行い、豊島区型コミュニティースクール実現に備えて、未来の日本・東京・豊島を牽引する人材を育てるための仕掛けを創造したいと考えています。保護者・地域の皆さま方には変わらずのご支援・ご協力を宜しくお願いします。

どの学校でも、年度当初に校長の学校経営方針・計画を全教職員に示し、その具現化を目指して、生徒をより良く育てる取り組みにあたります。今年度の学校経営方針は、東京都や豊島区のエデュケーション目標・方針に則るのは当然として、この1年の全校の動きを予測して、教育課程（計画）と様々な場面での具体的な実践を結びつけることに意を注ぎました。以下に、その一部を示します。

①特色ある教育の推進・・・基本となる5項目

- 1 授業改善による学力向上・・・千中スタンダード・自主性専門性の重視、家庭学習の強化
- 2 道徳教育と生活指導の充実・・・毅然とした指導、道徳教科化への備え、家庭との連携
- 3 健全育成（いじめ・体罰ゼロ）・・・ハイパーQ U・人間関係重視、違いを認める教育
- 4 新しい課題への挑戦・・・特支巡回指導準備、学習意欲の向上、オリパラ教育
- 5 地域連携促進（ISS 準備）・・・防災ジュニアスタッフ・地域と学校の連携強化

②指導の基本となる5つの視点・・・「主体的・対話的で深い学び」の定着

- 1 学力向上・・・授業力の充実、人間関係重視の授業確立、学力下位層への支援
- 2 心の教育を通じて自己指導力育成、自己健康管理能力の育成、体力精神力の向上
- 3 健全育成・・・ハイパーQ U活用、自己発揮能力の育成、交通・災害・生活安全
- 4 課題対応・・・PDCA サイクルによる研究の深まりと実践、巡回指導がトライン、オリパラ教育
- 5 地域連携促進・・・保護者との信頼関係構築、ISS を意識して地域との連携強化

※2年間の研究で積み上げてきた成果を、「千川中スタンダードの更なる充実」を通して、本校の特色そのものになるように励んでいく所存です。一層のご支援を宜しく願いいたします。